

# 水辺のふるさと かつしか 冬号

2021.9-11

自然環境レポーター通信



写真のタイトル：アオサギ「おじちゃん釣れた？」

撮影場所：水元公園

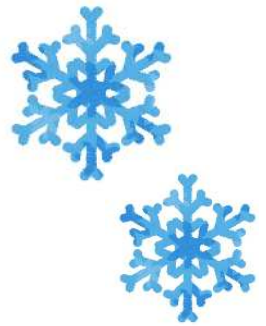
写真提供：瑛ちゃん

目次

- 1 55種の動植物調査結果 ..... P 2
- 2 自由レポート ..... P 3～29
- 3 季節の写真集 ..... P 30～36
- 4 魚からの便り ..... P 37～40
- 5 環境課からのお知らせ ..... P 41～42



編集担当からのひとこと



環境課では秋から冬にかけて様々なイベントを開催いたしました。

「鳴く虫の女王『カンタン』と秋に鳴く虫を聴く会」では、カンタンだけでなく、多くの虫が鳴いていました。都立和田堀公園で開催した「大人向け秋の自然観察会」では、初めのうちは雨が降っておりましたが、葛飾区内では体験できないアップダウンのある環境を歩き、植物や樹木についても観察することができました。

令和3年12月18日(土)には都立水元公園で冬の野鳥と自然の遊びをテーマに「自然環境レポーター研修会」を開催いたしました。すぐ目の前にアオサギがいたり、カルガモやヒドリガモなどのカモ類の他、メジロなどの野鳥を観察できました。マガモ(オス)とカワセミもいて、実際に観察してみると改めてその美しさに気付かされました。また、野鳥だけでなく植物についても講師に解説いただき、葉など草木の観察もすることができました。

これから寒さが厳しくなってくる季節ですが、暖かい服装をして安全に気を付けながら冬の自然観察をしていただきたいと思います。

\*\*\*佐藤\*\*\*



# 55種の動植物 調査結果（9月～11月）

## 【調査区3】計10種

〈鳥類〉コサギ、シジュウカラ  
 〈昆虫〉エンマコオロギ、  
 トノサマバッタ、  
 ナミアゲハ、  
 ツマグロヒョウモン  
 〈植物〉オオバコ、ツユクサ、  
 ススキ  
 〈魚類〉メダカ

## 【調査区5】計41種

〈鳥類〉コガモ、ツグミ、ウグイス、コサギ、カワセミ、コゲラ、シジュウカラ  
 〈昆虫〉ギンヤンマ、アキアカネ、オオカマキリ、エンマコオロギ、トノサマバッタ、  
 アブラゼミ、ツクツクボウシ、ミンミンゼミ、ニイニイゼミ、ヤマトタムシ、  
 ナガサキアゲハ、クロアゲハ、ナミアゲハ、ツマグロヒョウモン、**アカボシゴマダラ**  
 〈植物〉アカメガシワ、スギナ、**シロツメクサ**、スズメノエンドウ、**イモカタバミ**、**アレチウリ**、  
 セリ、オオバコ、カントウヨメナ、ツユクサ、**ジュズダマ**、ススキ  
 〈爬虫類〉**ミシシippアカミミガメ**、ニホンカナヘビ  
 〈両生類〉**ウシガエル**  
 〈クモ類〉コガネグモ、ジョロウグモ  
 〈魚類〉**ブルーギル**  
 〈底生動物〉ベンケイガニ

## 【調査区2】計15種

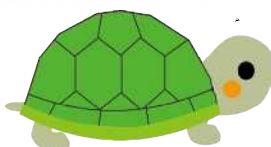
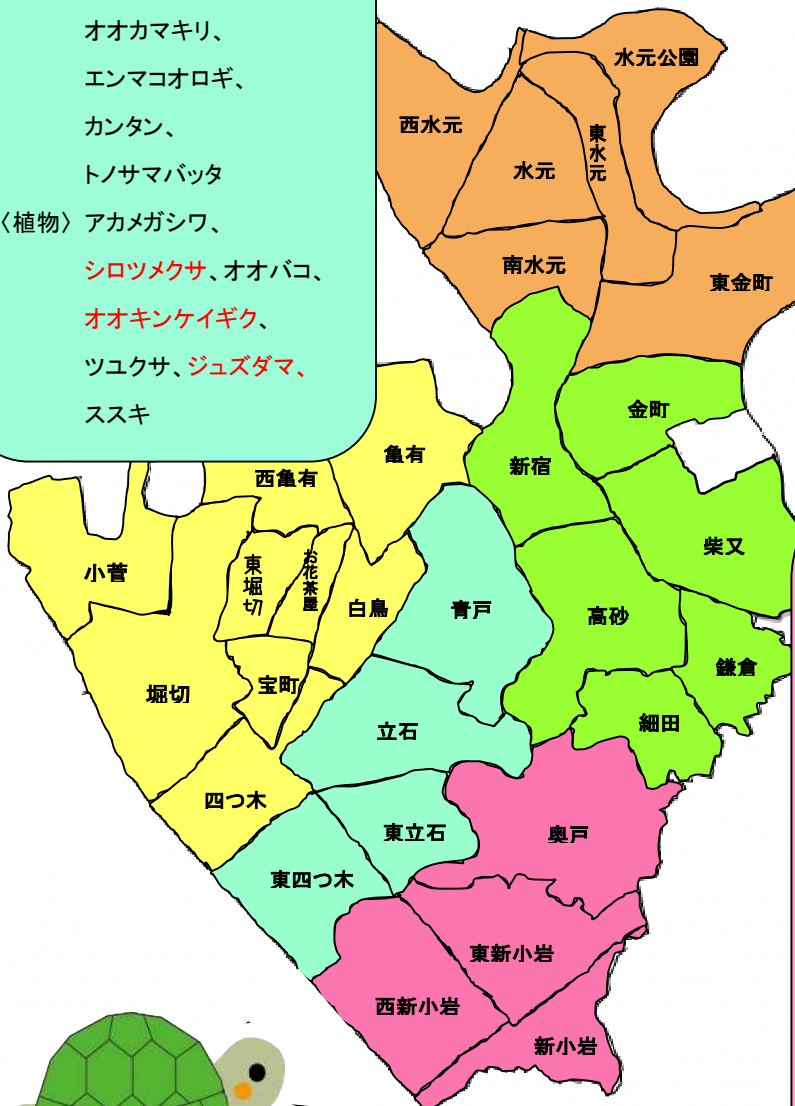
〈鳥類〉ウグイス、コサギ、  
 シジュウカラ  
 〈昆虫〉アキアカネ、  
 オオカマキリ、  
 エンマコオロギ、  
 カンタン、  
 トノサマバッタ  
 〈植物〉アカメガシワ、  
**シロツメクサ**、オオバコ、  
**オオキンケイギク**、  
 ツユクサ、**ジュズダマ**、  
 ススキ

## 【調査区4】計19種

〈鳥類〉ウグイス、シジュウカラ  
 〈昆虫〉アキアカネ、エンマコオロギ、アブラゼミ、  
 ツクツクボウシ、クロアゲハ、ナミアゲハ、  
 ツマグロヒョウモン、**アカボシゴマダラ**  
 〈植物〉アカメガシワ、スギナ、**シロツメクサ**、  
**アレチウリ**、**オオキンケイギク**、ツユクサ  
 〈爬虫類〉**ミシシippアカミミガメ**、ニホンカナヘビ  
 〈クモ類〉ジョロウグモ

## 【調査区1】計29種

〈鳥類〉ツバメ、ウグイス、シジュウカラ  
 〈昆虫〉アキアカネ、エンマコオロギ、カンタン、  
 ツクツクボウシ、ミンミンゼミ、ニイニイゼミ、  
 ナガサキアゲハ、クロアゲハ、ナミアゲハ、  
 ツマグロヒョウモン、**アカボシゴマダラ**、  
 〈植物〉アカメガシワ、スギナ、**シロツメクサ**、  
**イモカタバミ**、セリ、オオバコ、  
**オオキンケイギク**、  
 カントウヨメナ、ツユクサ、ススキ  
 〈哺乳類〉**ハクビシン**  
 〈爬虫類〉**ミシシippアカミミガメ**、ニホンカナヘビ  
 〈クモ類〉ジョロウグモ  
 〈底生動物〉ベンケイガニ



**赤字**は外来種だよ

彼岸花

弥生さくら草

毎年必ずきっちり彼岸に咲いていた彼岸花が初めて彼岸の日を待たずに咲いた。今日は彼岸の入りである。それなのに、もう大半の花が終わりに近い。こんなことは私が気にかけてから初めてで衝撃的である。今まで九月に入っても暑い日が続くと彼岸の近づいたことを忘れて草取りをして彼岸花を見つけ季節を意識したのだった。その几帳面さにびっくり……。どうしてそれが解るだろうかと感嘆した。それが昨年までの姿だった。今日墓参の帰りに近くにある奥戸の寺に赴いた。境内には紅、白、黄色の彼岸花が咲き乱れながらも、もう峠を過ぎて見慣れた紅色や白は好ましく好天気誘われた観客も多い。撮影や観賞で大賑わいである。以前は庭先に置くなど決して無かった彼岸花だったが、今では観光客も多くなり今昔の感がある。濃い黄色の花は見慣れぬせいか不気味に思えた。いつか更に色の違う新種が出来るだろうか？

ここへ来たばかりの頃畑の隅に咲いた彼岸花が珍しく切りとり家に持って帰ったら、義母が大騒ぎだった。釜が割れるという。異名を釜割れというのだ。彼岸花はどちらかというと淋しい墓地などに多いから嫌われたのだ。それが今では我が家でも彼岸を知らせる花で咲いている。

今年はコロナという未曾有の災難に遭った年で、今でも外出は勿論の事その他にも制約がある。天候不順で泣かされた人々も多かった。盛夏は猛烈に暑く、九月になった途端に涼風が吹いて面喰った。私も体調を崩している。庭先に六月ごろから咲いて、いまだに咲き続けている百日紅は名残の花が咲いている。ほのかに咲き匂う筈の金木犀の花が今年は寿命が短くて、いつのまにか盛が過ぎた。

9月20日

## 秋が逝く

## 弥生さくら草

暑いとか涼しいなどと言っているうちに本格的な秋が来ました。振り返ればいろいろありました。先ずはコロナです。毎夕テレビで感染者を見ては一喜一憂の日々でした。今までは何時になったら解放される日が来るだろうかと思っていました。最近は何とか落ち着いたようですが寒さの時期になり油断をすると、また再発するのかなと思うと気が抜けません……。

今年の紅葉は今まで禁足状態だったのも影響するのか一層美しく思えます。それが刺激になって是非とも紅葉観光に行きたいと願いながら実行も儘ならず、思い浮かべるだけで我慢です。そして今までは、だらだらと暑さをひきずった気候でしたが、ここへ来て急激に寒気が進み諸所では大雪だという報道で、天候は不順です。暖かさとで植物の冬支度が遅れました。多分彼らも同様に面喰っていることでしょう。木枯らしが吹き始めました。早速落ち葉が始まり、掃き寄せに追われています。千両はもう実が赤く染まり正月を待っているようです。破天荒だった丑年も残り少なくなりましたが平穏無事を願っています。

令和3年11月28日

氏名	散歩の花子	町名	東新小岩、西新小岩	調査区	1-3、1-4
----	-------	----	-----------	-----	---------



キバナコスモス／キク科



中川左岸緑道のキバナコスモスです。  
9月から11月に道にはみだしてバラバラと咲いています。  
9月、ミツバチがブンブンと花から花へ忙しく飛び回っていました。  
セイヨウミツバチだと思います。

クコ（枸杞）／ナス科



道端にひっそりと咲いて、踏んでしまいそうです。  
杏仁豆腐の上に一つ乗っている赤い実が、  
このクコの実です。

ホソバヒイラギナンテン（細葉柊南天）  
／メギ科



数年前より、植込み花壇などでよく見かける草でしたが、  
11月に黄色の花が咲いていたのをみかけました。  
やっとホソバヒイラギナンテンであることがわかりました。

氏名	散歩の花子	町名	東四ツ木	調査区	2-8
----	-------	----	------	-----	-----



ルリマツリ(瑠璃まつり)  
／イソマツ科

中川右岸緑道にある2メートル以上ある樹です。  
5月頃から11月すぎでも、まだ次々と青いお祭りは  
咲き続けています。

アメジストセージ／シソ科

中川右岸緑道の植込みに放っておかれて？  
ワサワサとアメジスト村



氏名：千葉 美文 町名：青戸、白鳥 調査区：2, 3, 5

9月5日 曇り 青戸駅側のUR団地にて、ツミの2回目の繁殖での幼鳥が4羽健在。数日後に幼鳥は親鳥とともに姿を消す。今年、青戸平和公園のツミのつがいの繁殖は、1回目5羽、2回目4羽、合計9羽のヒナを巣立たせた。

9月8日 晴れ 青戸平和公園にて今季初のコサメビタキを確認。

9月20日 晴れ 青戸平和公園にて今季初のエゾビタキを確認。この日はコサメビタキも確認。コサメビタキはかなり低いところまで下りてきていた。コナラのどんぐりがたくさん落ちるようになる。

9月22日 曇り 青戸平和公園にて知人の野鳥カメラマンがアオバトの声を聞いた。アオバト今季初記録。クヌギのどんぐりが落ちるようになった。

9月24日 曇り、晴れ 青戸平和公園にて5:56に若いツミのメスが渡来。7:10には春にこの公園で繁殖していたと思われるツミのオスが戻ってきた。

9月29日 曇り 青戸平和公園にてツミのオスが来る。ハイタカらしき猛禽類も渡来。飛んでいる姿だけ見ているがツミより2回りほど大きかったのでハイタカである可能性が高い。その後ツミのメスが来たが先ほどの猛禽がツミのメスかハイタカかわからない。



エゾビタキ



コサメビタキ



ツミ オス

10月2日 晴れ 台風の後なので迷鳥が来ているかなと思い、青戸平和公園に行ってみると、ツミはいなかったがシジュウカラの群れの中にムシクイ類がいた。何ムシクイかは不明。

10月3日 晴れ ツミ若メスが渡来。またツミのオスが来る。コサメビタキが3羽渡来。青戸平和公園で2例目のカケス渡来。カケス今季初確認。

10月4日 晴れ ツミのオスが来る。よそ者のツミとケンカする。カケスは来なかった。

10月6日 曇り カケス上空通過。このあたりを回遊しているのかもしれない。

10月7日 雨 学校帰りに今年初めてのアブラコウモリを見る。

10月10日 曇り、雨、晴れ 午前、青戸平和公園ではツミのよそオスが来て青戸平和公園のオスと長い間空中戦。午後、水元公園に行く。鳥は、キビタキ、カワセミ、コガモ、ヒドリガモ、オオバン、カルガモ、コサギ、アオサギ、オオタカ、カワウ、モズなど。ノビタキはもういなかった。昆虫はツチイナゴ、アキアカネなど。

10月11日 晴れ ツミのオス渡来

10月12日 雨 夕方にアブラコウモリを見かける。

10月15日 晴れ ツミの夫婦両方とも来る。ヒヨドリが30羽ほどの群れで渡来。メジロ



も 10 羽ほどの群れが来る。夕方にアブラコウモリを見る。

10 月 18 日 晴れ 夕方にアブラコウモリを見る。

10 月 23 日 晴れ 水元公園にて、クロハラアジサシとオシドリを見に行ったがオシドリはおらず、クロハラアジサシは早朝に出てきたとのことで見ることはできなかった。カンムリカイツブリとホシハジロ、ヒドリガモ、キンクロハジロ、マガモ、カルガモ、カワウ、オオタカなど。昆虫はルリタテハなど。知人のカメラマンによると青戸平和公園でジョウビタキのオスが来た。ジョウビタキ今季初確認。

10 月 24 日 晴れ 水元公園にて、今日もクロハラアジサシとオシドリはおらず早めに撤収。10 時ごろから荒川の上平井干潟でセイタカシギ 4 羽以上とアオアシシギ 3 羽ほどとイソシギとオシドリ、スズメ、ミサゴが現れた。ミサゴは魚（おそらくスズキ）を持って横切って行った。荒川は葛西臨海公園とつながっているの、ミサゴが来てもおかしくないと思った。

10 月 25 日 晴れ 青戸平和公園にて、ツミのオスが来たがいつものオスよりも腹の色が濃いためよそのものであると思われる。（おそらく水元に最近定住している個体。）その後水元側に飛んで行った。（帰った？）ツグミの声が聞こえた。ツグミ今季初記録。

10 月 29 日 晴れ 青戸平和公園にて、ツミのオス来る。メスも来る。

10 月 30 日 晴れ 青戸平和公園にて、ツミのオスとメスが来る。メスがアカハラを狩るが、オスに邪魔され捕まえたアカハラを落とす。アカハラは首を絞められて目をつぶされたようで、そのまま死亡。※前例あり。おとしはアカハラの狩りに成功している。



落ちてきたアカハラ



ミサゴ



タヌキ



ルリタテハ

11 月 1 日 曇り 青戸平和公園にてツミのメスが来る。

11 月 3 日 晴れ 青戸平和公園にてツミのメスが来る。団地の敷地内でジョウビタキのメ

スを確認する。上平井干潟に行くが満潮時に行ってしまったため、何もいない。

11月4日 晴れ 青戸平和公園にてツミのオスとメスが来る。団地でジョウビタキのメスを観察する。

11月6日 晴れ 上平井干潟にてセイタカシギ、コガモ、カンムリカイツブリ、イソシギ、ハマシギ、アオアシシギを見る。

11月12日 晴れ 青戸平和公園にて、ツミのメスが来る。

11月20日 晴れ 青戸平和公園にての木の実をヒヨドリ、シジュウカラ、メジロが食べにくる。※去年はジョウビタキのメスも来ていた。ツミはオスが来ていたが、カラスに追いかけられる。(最近カラスが公園内にたくさん来ているため、ツミがすぐいなくなる。)

11月23日 晴れ 青戸平和公園にてツミが3羽上空を飛んでいるのを見る。ウグイス2羽確認。

11月26日 晴れ 青戸平和公園にてツミのオスが来る。

氏名：石鍋 壽一	町名：小菅	調査区：3
----------	-------	-------

2021年9月4日

## ママコノシリヌグイ



「ママコノシリヌグイ」

区内北西部 令和3年8月1日

先月、雨水の流れ込む側溝に以外と花が咲くと書きましたが、今月はママコノシリヌグイです。

令和元年の河川氾濫で種が流れてきたのか、今年から河川敷で見られるようになりました。

植物の中には河川氾濫などで土が動かされないと生き延びられない種がいるそうです。

9月4日現在、まだ咲いています。

氏名：石鍋 壽一	町名：小菅	調査区：3
----------	-------	-------

2021年10月9日

## ツルボ



「ツルボ」

区内北西部 令和3年9月4日

ユリの仲間だそうです。

人が歩かない、土が固くないところにのみに咲いています。

人が歩いて踏み固めた土のところでは咲かない様で、葛飾区内では比較的貴重な植物です。

県を2つ、またぐと道の植え込みに群生しているのも見たこともあるのですが、道路の緑地帯で草刈しても草をきっちり掃除せず、腐葉土っぽい柔らかい土のところでした。

氏名：石鍋 壽一	町名：小菅	調査区：3
----------	-------	-------

2021年11月3日

## オオカナダモ



「オオカナダモ」

区内北西部 令和3年11月3日

在来種のクロモに似て、かつ競合し、繁殖力が強いそうです。

水中にもしゃもしゃ生えていました。

9月ごろ少し曇っていても酸素（ $O_2$ ）をプクプク出していたので、てっきり良い植物だと思っていました。

花期は10月ごろまでらしいのですが、まだ咲いています。

今年はミソハギも9月になっても満開で咲いていて、時期が少し変です。

また、上流で駆除したら、青いイトトンボ（捕まえないと同定できない）がいなくなっていました。

人間が自然管理するのは凄く難しいことだとつくづく感じました。

氏名：藤並 剛 町名：亀有 調査区：3

9月19日(日)午前10時頃、天気は晴れ(風あり)、気温は25度くらい。亀有3丁目の中川橋周辺。野鳥は、スズメ、ムクドリを見つけた。昆虫は、ハラオカメコオロギ、エンマコオロギ、カネタタキ、ウスバキトンボ(3)、シオカラトンボ(1)、ツマグロヒョウモン(1)、ナミアゲハ(2)、ヤマトシジミ(3)、モンシロチョウ(2)、ヒシバッタ(1)、ショウリョウバッタ(1)を見つけた。植物は、エノコログサ、アキノエノコログサ、オヒシバ、メヒシバ、ツユクサを見つけた。ヒガンバナやキンモクセイの花を見つけた。(ヒガンバナは例年どおりで、キンモクセイは早々と9月10日頃から咲く)

9月26日(日)午前10時頃、天気は少雨(風あり)、気温は21度くらい。亀有3丁目の中川橋周辺。野鳥は、スズメ(少数)、ムクドリ(大群)を見つけた。昆虫は、ハラオカメコオロギ、エンマコオロギ、ツツレサセコオロギを見つけた。(ツツレサセがよく鳴いていて、秋をより感じた)植物は、オヒシバ、メヒシバ、ツユクサ、エノコログサ、アキノエノコログサ、キンエノコロを見つけた。ヒガンバナが枯れ、キンモクセイの匂いもなくなった。

10月3日(日)午後4時頃、天気は晴れ(風少し有)、気温は24度くらい。亀有5丁目の東部地域病院周辺。野鳥は、スズメを見つけた。昆虫は、カネタタキ、ツツレサセコオロギ、ナミアゲハ(1)、ヤマトシジミ(3)を見つけた。植物は、オシロイバナやアベリアの花が咲いていた。キンモクセイの花がまた咲いた(今年、2回目であり、珍しい現象である)。

10月9日(土)午前7時頃、天気は曇り(風なし)、気温は22度くらい。亀有3丁目の中川橋周辺。野鳥は、スズメ、オナガ、ムクドリ、コサギ(1)を見つけた。昆虫は、エンマコオロギ、ハラオカメコオロギ、ツツレサセコオロギ、カネタタキを見つけた。植物は、メヒシバ、アキノエノコログサ、キンエノコロ、ヨシ、セイタカアワダチソウを見つけた。アベリアやキンモクセイの花も咲いていた。

10月16日(土)午前6時頃、天気は曇り(風なし)、気温は19度くらい。亀有3丁目の中川橋周辺。野鳥は、ムクドリ、スズメ、ハクセキレイ(1)を見つけた。昆虫は、ハラオカメコオロギ、エンマコオロギ、ツツレサセコオロギを見つけた。植物は、サクラやケヤキの葉が色づき始めた。

10月23日(土)午前10時頃、天気は晴れ(風あり)、気温は18度くらい。亀有3丁目の中川橋周辺。野鳥は、ヒヨドリ(3)、ムクドリ、シジュウカラ(3)、スズメ、ハクセキレイ(1)を見つけた。昆虫は、モンキチョウ(1)、を見つけた。植物は、ヨシ、オギ、キンエノコロ、アキノエノコログサを見つけた。ハナミズキが紅葉し、ケヤキ・サクラの葉も半分落葉した(残った葉も

色づいた)。

11月4日(木)午前9時頃、天気は晴れ(風少し有)、気温は16度くらい。亀有3丁目の中川橋周辺。野鳥は、ヒヨドリ、スズメ、ハクセキレイ(2)、シジュウカラ(2)、オオバン(1)、コサギ(1)、カワウ(1)を見つけた。昆虫は、キタキチョウ(1)、ツツレサセコオロギを見つけた。植物は、ヨシ、キンエノコロ、セイヨウタンポポ(2)、ホトケノザ(2)を見つけた。

11月6日(土)午前10時頃、天気は晴れ(風少し有)、気温は16度くらい。都立水元公園の水辺のいきもの館周辺。野鳥は、ジョウビタキ(1)、カワセミ(1)、シジュウカラ(3)、コサギ(1)、ダイサギ(1)、アオサギ(2)、オオバン(大群)、ヒドリガモ(大群)、カワウ(2)、ヒヨドリ、カルガモ(大群)、ハクセキレイ(2)を見つけた。昆虫は、ツツレサセコオロギ、エンマコオロギ、コバネイナゴ(1)、モンシロチョウ(2)、ヤマトシジミ(3)、アキアカネ(2、交尾飛行)を見つけた。植物は、イヌタデ、ヨシ、セイヨウタンポポ、アキノエノコログサ、キンエノコロ、チカラシバ、シロツメクサ、ムラサキツメクサ、カタバミを見つけた。

新型コロナウイルス感染症の一日における新規感染者は9月に入って減少し、東京都でも10月に入ると、50人を割る勢いで少なくなった。10月30日付けの産経新聞では、「29日、東京の新規コロナ感染者は24名となった」と報じている。11月1日には、東京の感染者が9人となった。この感染症と共存し、あたらしい世界を築いていくことが求められている。葛飾区では、SDGs(持続可能な開発目標)による街づくりが行われている。葛飾区基本計画によると、「夢と誇りあるふるさと葛飾の実現」と、「区民との協働による、いつまでも幸せに暮らせるまちづくり」の基本方針に基づき、14の「葛飾・夢と誇りのプロジェクト」や政策・施策を展開しながら、SDGsの実現に向けて組織横断的な取り組みを推進しているとのことである。

今回は、SDGsの17ターゲットの一つ、11.7「2030年までに、すべての人々、特に女性、子ども、高齢者、障害者などが、安全でだれもが使いやすい緑地や公共スペースを利用できるようにする」を取り上げる。ここで、『遊びと街のエコロジー』(木下勇著、丸善)という本を紹介する。著者は、大妻女子大学教授で、三世代遊び場マップづくりにも参加された都市計画の専門家である。著書の中で、公園のあり方について、問題提起をされていた。「世界のレベルではまだまだ公園(整備の)後進国である」「その標準面積に向けた整備はいずれ必要とされるが、考え方として、住宅地の状況も異なるので、何も基準どおりの型にはまった整備を望むよりも、地域に応じて公園化できる所を探す方が得策かもしれない」と述べている。また、「子どもの遊び場をデザインすることほど難しいこともない」とも述べている。さらに、「子どもといっても年齢

によって様々であり、成長に合わせて行動が広がる。特に小さな幼児にとっては家の近くに安全な遊びが必要であり、多種多様な公園を駆使して配することが望ましい」という。今日、生かされていない公園が多々あるが、だれでも使いやすい公園とはどんな公園なのであろうか。それは、著者がいうところの住民参加の公園づくりではないかと思う。公園整備計画の段階から、専門家や学生も含めた住民と一緒に考え、企画したものだ。世田谷区の事例では、公園などが不十分であった密集市街地のところどころに空き地ができ、その公園化にあたって、ワークショップを実施し、住民の意見から公園の使用目的を考えた。人集めのイベントを行い、街の人々の関心を高めた。そして、整備された新しい緑地を最も喜んだグループにいきつくのだ。そのグループこそ、高齢社会の街づくりと子どもを結び付けた「楽働クラブ」である。「楽働クラブ」は、住民（多くは高齢者）や地区外の若い都市計画や建築の実務者、学生などが参加するワークショップによって生まれた組織である。ワークショップを継続して行い、信頼関係を築き、元小学校教員を含めた教育関係者などの人々がメンバーとなった。「子どもの心をつかむコツを心得ている H さんが、街づくりに関わってきたのは地域にとっても明るい展開をもたらすものとなった」と著者はいう。「(園芸に傾いている活動が、) H さんによって、地域の野鳥に詳しい人を組織して街の中の野鳥観察を始めた」「観察会は小学校の子どもたちも参加して盛大に行われたりする。この街づくりと関係ないと思われる活動も、野鳥がよく観察されるのは整備された緑地、緑豊かな公園、残っている家々の隙間のわずかな緑など」「子どもに何か伝えていくべきかを行動の中で感じて」いくことができる。高齢者を中心とする「楽働クラブ」が、「花や鳥や踊りや音楽などの関心事から活動を始めても、それがつながってくることに面白さがある。それは環境の要素や行為のつながりであり、生態系のつながりを意識することになってくる」と著者はいう。この取り組みに、『生物多様性と私たち』（香坂玲著、岩波ジュニア新書）の活動のヒントを取り入れるとよいかと思う。それは、「(環境) マップづくりは幼稚園でもできるし、地域でも作成できる。東京都の練馬区では、生きものマップとして『憩いの森などの動植物調査とカルテづくり』が、さまざまな年齢層の地域住民を巻き込んでおこなわれている。動物、植物、昆虫、歴史などの班に分かれて、地元の小学生からシニアまでが混ざって地図づくりをおこなっている。シニア層が植物にかたよったりということもおきるが、近くの小学校があるときは積極的に活動に誘ったり、ミニワークショップを開いたりして、交流をはかっている。その成果は、(財)練馬区都市整備公社が『いきものつながり』として書籍にまとめ」ている。多様性を取り入れるためには、さまざまな年齢層の出番をつくることだと思う。これこそがSDGsの取り組みである。(11月7日)



氏名：となり 調査区4 2021年9月～11月

《主に鎌倉町の自宅の庭》

↓ 簾を出入りする小さなハチ？



↓ 朝顔と甲虫



↓ 水引の花を背負うクサカゲロウの幼虫？



↓ ハナバチの仲間？



↓ イチモンジセセリとアゲラタム



↓ ヒラタアブの仲間



↓オオスカシバとボググセージ



↓ウラナミシジミとセンニチコウ



↓カナヘビ。尾の色が途中から変わっている  
ので猫にやられたかも。猫対策しないと。



↓クロマダラソテツシジミ



↓新中川の八剣橋の脇  
以前は草が生え、カンタン・エンマコオロギの他にも数種類の虫が鳴いていた。



↓高砂北公園周辺 チョウゲンボウ？  
カラスと喧嘩した後、草むらで何かを取り、  
電線にとまり食べていた。



氏名	K・N	町名	東金町	調査区	5
(水元公園正面入口～養魚場入口間の指定種の植物と昆虫・鳥類)					
種類	植物・蝶々・野鳥 (令和三年)				

種類	9月	10月	11月	種類	9月	10月	11月
西洋タンポポ	4	7	7	アゲハ蝶	1	2	1
つゆ草	多数	多数	1	モンシロ	3	5	4
シジミ蝶	20	多数	10	アオサギ	1	2	7
クロアゲハ	2	0	0	コサギ	0	3	2
シロツメ	多数	10	0	カモ類	3	60	40

植物情報

- ① 9月10日、彼岸花2輪早い開花あり・あじさいの葉は虫くいが全面的にみられた
- ② 10月と11月の西洋タンポポ各7個と少ないので、古い資料参照  
平成17年(10月46個)(11月29個)平成19年(10月40個)(11月21個)  
平成29年(10月13個(11月2個)に減少(工事直後?)  
気候の影響かどうかは、今後の観察が必要
- ③ 自宅の庭にビワの花を11月観察(写真)今年2回目、一部だけだが  
平成30年12月に東金町3丁目と4丁目にも記録あり、
- ⑤ 11月、伊豆大島産のつばきが開花、気温低下のためつばみが多い  
二度咲きのビワの花



⑥桜の木にきのこ?あり  
桜土手↓ (病気?)

菖蒲田の中ごろ土手近く



## 葛飾区自然環境レポーター 自由レポート（2021年9月～2021年11月）

氏名：江戸川の小鮒	調査区：5 主に東金町、水元公園	町名：東金町
-----------	------------------	--------

### 9月5日（日） 東金町6～7丁目地先江戸川堤防

堤防上をかなり低い位置で飛翔するトビ1羽を確認。上空から堤防の草原をじっと探るようにつめていた。

### 9月7日（火） 東金町6～7丁目地先江戸川堤防・河川敷

この日も堤防上をかなり低い位置で飛翔しながら上空から堤防上の草原をじっと探るようにつめていたトビ1羽を確認。しばらく歩くと、ゴルフ場のわずかな砂場を利用してヒバリ1羽が砂浴びをしている様子を確認。残念ながらスマホを持参しておらず、写真を撮ることはできなかった。YouTubeでもヒバリが砂浴びをする動画が紹介されていた。毎回歩いている場所でも思いがけず新たな発見や出会いがあるので、これからもアンテナをしっかりと張って観察することが大事だと感じられた。

### 9月11日（土） 東金町4・6丁目住宅街

外を歩いているとキンモクセイの香りが漂っていた。これまでレポーターを続けてきた経験からすると、東金町4・6丁目では例年より2週間前後早い感あり。

### 9月18日（土） 東金町6～7丁目地先江戸川堤防・河川敷

台風が接近する中、一時的に雨が止んだので江戸川堤防上を散策。河川敷の樹上からモズの高鳴きが聞こえた。一瞬耳を疑ったが間違いない。こちらもこれまでの東金町でのレポーターでの経験からすると、例年より1週間から10日ほど早いと思われる。

### 9月19日（日） 東金町6～8丁目地先江戸川堤防・河川敷、水元公園不動池

台風一過の爽やかな秋晴れの下、江戸川堤防・河川敷のゴルフ場には多くの人が繰り出していた。東金町8丁目地先の江戸川河川敷の樹上からモズの高鳴きが聞こえた。堤防上ではチョウゲンボウ1羽の飛翔を確認。不動池ではキジバトが計4羽・カルガモ1羽を確認。

9月20日(月) 東金町6~8丁目地先江戸川・河川敷、水元公園不動池



16時15分、東金町8丁目江戸川堤防下の草原にダイサギを1羽確認(画像)。普段は水辺でしか見かけないが、なぜあんな草原に? と思ってしばらく観察していると、草原内にいる昆虫等を捕食しているようだった。一瞬で嘴を地面の方に突き刺す動作を繰り返していた。こうした場面を見かけたのは初めてだった。河川敷内の樹木からはモズの高鳴きが聞こえる。不動池に行くとカワセミが水中にダイビング。その瞬間に望遠レンズを構えている多くのカメラマンのカメラのシャッター音が凄い。池内ではカルガモ4羽が水草を食べているのか、せっせと嘴を水の中に入れて細かく動かしている。

爽やかな秋晴れのもと、自然観察と青空を堪能した。

10月3日(日) 水元公園

・バードサンクチュアリ近くの林の中に、新たに地面を掘削して作ったと思われる水路があった。周囲は人が入れないようにネットで囲われているが、まるで熱帯雨林の中の水路のような雰囲気(画像)。

・ツマグロヒョウモンのオス(画像)が多数舞っている姿を確認した。



10月16日(土) 東金町7丁目地先江戸川堤防

・13時、自宅にいたところ葛西神社からワカケホンセイインコの鳴き声が聞こえた(姿は確認できず)。勤務先の豊島区では当たり前のように見かけることができ、23区の西部ではかなり繁殖しているようだが、ついに東京東部でも増えてきているのか?

・10月10日(日)・16日(土)の両日、江戸川堤防草地にて昆虫を物色しているダイサギを再び見かけた。



10月20日(水) 東金町6丁目地先江戸川堤防上

8時30分、チョウゲンボウが飛翔。上空でホバリングする姿も見られた。堤防の草原内にいる獲物を上空から狙っている様子。

10月24日（日） 東金町7丁目地先江戸川堤防、8丁目江戸川河川敷

・16時、8丁目の河川敷の草原の藪の中から何やらキジに似た鳴き声が聞こえる。キジは春先にしか鳴かないのでは？と思いつつ、しばらく近くで様子を見てみると、2羽のオスのキジが姿を現し、お互い威嚇し合っているような様子だった（写真は撮れず）。



- ・しばらく堤防付近を歩いていると、土手の草原内をアオサギが昆虫を探している様子がみられた。ダイサギが同様の行動をしている姿を見たが、アオサギも昆虫を捕食するようだ。
- ・堤防の草原にてモンキチョウの姿も見られた。

11月14日（日） 東金町6丁目地先江戸川堤防

上空を飛んでいたチョウゲンボウに向かってカラス2羽が威嚇するように何度も攻撃を仕掛けていた。チョウゲンボウはヒラリヒラリと交わり、カラスも諦めて向きを変えて飛んでいった。

11月23日（祝） 水元公園

園内の樹々は紅（黄）葉が進んで秋深しといった感じの景色が広がっていた。特にナンキンハゼ・エノキ・ケヤキ・メタセコイア・ラクウショウなどは、紅葉の見頃を迎えていた。池の水面に紅葉した樹々が映りこんだ様子をしばらく堪能した。

自然環境レポーターの皆さんを始め区民の方々にも、葛飾区にある人為的に造られた自然環境とその環境に順応して逞しく生きる生き物たちの姿を楽しんでいただきたい。季節はこれから確実に冬へと移り変わっていくが、冬にしか味わえない自然の姿も味わいたいと思う。



# 自然観察レポート調査区5

R3/9～11の巻 佐々木定治

## 昆虫の秋・昆虫天国



9月10日 水元3丁目 チョウセンカマキリ

長身のスマートなカマキリです。「何を考えてこの場所を選んで、休んでいるのだろうか？」

この場所は、グミの木のあるところ。テントウムシ等もあつまる場所でもあります。

昆虫の世界は生きるために「食う食われる世界」でもあります。よく観察してみると、カマキリの頭が小首を傾げているようです。きっと何かをみつけたのでしょうか？踏ん張る足に力強さを感じます。昆虫博士に聞くと、このカマキリは、前足の付け根が「キムチ色のオレジ」が特徴だということです。

9月11日 クビキリギス☆

9月20日 ツマグロヒョウモン△



☆なかなか名称が判明できず昆虫博士に伺いました。「クビキリギス」と似たようなバッタに「クサキリ」「カヤキリ」等が生息すると教えていただきました。△ツマグロヒョウモンは、秋に咲く「ツワブキの花」によく止まります。その瞬間です。

ゆっくりお休みなさい！ここで。

## この里で・・・3丁目の秋



10月20日 シオカラトンボ↑ 11月20日 キタテハ↓



※コロナ禍が収束しそうで、なかなか収まりません。自然観察は人との距離も、心の平静も保て、雄大な自然界を小さな自分の中に取り入れる絶好のチャンスです。そんな思いで今号をレポートしました。

- ① シオカラトンボのオスです。シオカラトンボの生息地は。平地・低山地の池・湿地・水田です。オスは、成熟するにつれて体が黒くなり、白い粉でおおわれます。(トンボ科 50～55 ミリ 北海道から南西諸島に住む 4月～10月) この記録写真はミニ田んぼ近くで撮影したものです。
- ② キタテハ (黄立羽、*Polygonia c-aureum*) は、チョウ目・タテハチョウ科に分類されるチョウの一種。和名どおり翅の表が黄色のタテハチョウです。
- ③ キタテハは夏型と秋型があり、季節で翅の様子が異なります。夏型は翅の色はくすんだ黄色で、縁や斑点が黒っぽいです。秋型よりも丸みがあります。
- ④ 秋型は翅の色は鮮やかな山吹色で、黒い斑点も小さいです。翅の形が夏型よりも鋭くなり、翅の裏面は枯れ葉模様になります。
- ⑤ 翅を閉じると枯葉にそっくりで、目立たなくなります。
- ⑥ その保護色を活用し枯葉に潜んで冬ごもりをします。  
※小学館の図鑑ネオポケットを参考にしました。



T・K 東金町 調査区 5



ニホンカナヘビ (2021.05) 東金町  
民家の植え込みに棲みついている様子。



キオビツチバチ (2021.05) 水元公園  
寄生蜂の仲間。



ショウジョウトンボ?? (2021.06) 水元公園 水産  
試験場跡。ミクリの緑をバックに赤色が映える。



コガネグモ (2021.07) 水元公園  
黄色と黒色の縞模様が目立つ。普通に見られる。



マスカラット (2021.6) 水元公園  
水産試験場横の水路や池にいる。2匹確認。



クロバネツリアブ (2021.06) 水元公園

T・K 東金町 調査区 5



ナガコガネグモ  
(2021.9) 東金町 7  
バッタを捕獲!



ミスジコウガイビル (2021.10) 水元公園 カメラの長さ 105mm ハンマーヘッドシャークのような頭。  
雨上がりの朝、シラカシの下を這うミスジコウガイビル。この数分前、女性がシラカシのドングリを取ろうと  
枝や葉を引っ張りゆすっていた。枝から落ちたのか湿った落ち葉から出てきたのか。



エナガ(2021.10) 水元公園  
桜に集まっているシジュウカラを撮ろうとカメラを向けると  
数匹の小さくかわいい鳥、エナガがいた。シジュウカラよりもさらに  
小さくフワッフワな体。



ルリタテハ (裏ばね:2021.10 表ばね:2021.11) 水元公園  
綺麗な青い紋が目立つ表ばねと枯葉と見間違える裏ばね。夏にはクヌギの樹液を元気に吸っていた。



9月26日(日)

西水元の大場川左岸を散策。  
オニグルミがたくさん実をつけていました。

法面のあちこちにヒガンバナが咲き乱れ、遠出しなくても楽しむことができました。



10月26日(火)

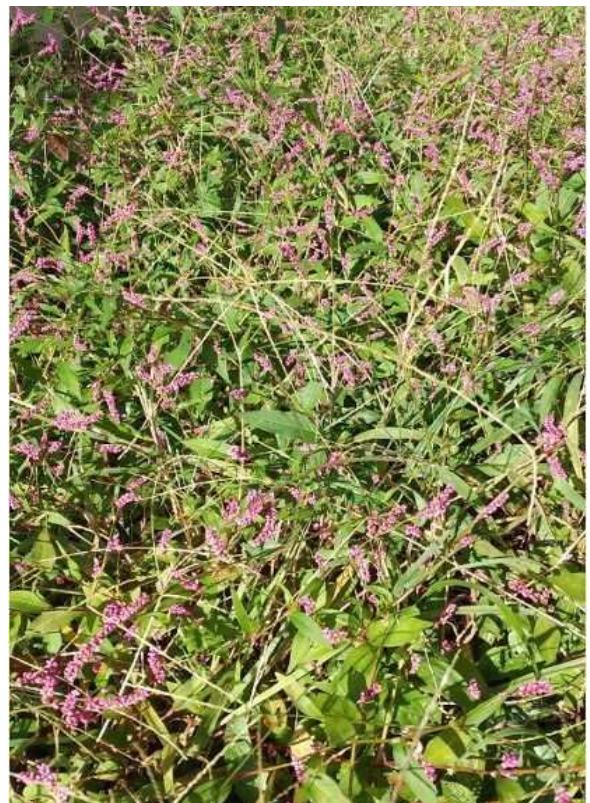
小合保育園の年長組さんと、水元公園へ昆虫採集に行きました。

前日の大雨も朝8時には上がり、天候は奇跡的&急速に回復。

あっという間に気温が上がり、トンボやチョウ、バッタなどを追いかけて楽しみました。



キマダラカメムシ



イヌタデの群生もきれいでした



スクミリンゴガイの卵



スクミリンゴガイ成体大きさ約8cm

1981年食用として南米から入ってきたが、卵や貝には寄生虫（広東住血吸線虫）が寄生している可能性大のため素手でさわらないこと。2000年には国内初の死亡例が発生している。ジャンボタニシともいわれるが、タニシとは異なる。スクミリンゴガイの大きさは6~8cmほどとなる。一度に2~300個1固まりで産卵、1つの貝が大体1週間おきに2~3回産卵する。



ホテイアオイはきれいな花が見られますが、秋になるとこの植物は水辺から取り上げ、処理しましょう。水質汚濁の原因になります。



イチイの実

赤い実は食べることができる。中の黒い種にタキシと呼ばれる毒がある。葉にも含まれる、モミノキとよく似ている。



イヌマキの実

花托（かたく）と呼ばれる赤い部分は食べられる。白い粉をかぶったような球形のところは種子。毒がある（イヌマキラクトン）かなり強い毒がある。



ナガエコミカンソウ

最近はこちらのほうが多くみられる  
ようになってきた



コミカンソウ

あまり見られなくなってきた。



センナリホオズキ



シラカシ樹幹こぶ病にかかったシラカシ  
発生原因はわかっていない。



イヌサフラン (毒あり)

ユリ科の植物でコルヒチンという強い毒がある。  
球根を間違っって食べて死亡例もある。



サフラン

アヤメ科で中のめしべを乾燥して香辛料としている。  
サフランライスなどに使用する。



アオツツラフジの実 (毒)  
 食べると呼吸困難や心臓麻痺を起こす。



チャノキの花  
 飲むお茶はこの新芽を摘み飲む。種は大きく指の先ほど大きさ、集めて枕を作る人もいる。



イヌカヤの実  
 カヤの実のように食べることはできない。



ヒイラギの花  
 節分の時にイワシの頭と共に玄関や鬼門にさす。この写真の葉を見るととげがあまり見えない。このようになったら「先祖帰りした。」と言います。



キンモクセイの種  
 キンモクセイは種がないといわれていましたが見つけました。日本にあるキンモクセイはほぼ雄もしかしたらウスギモクセイかもしれません。これからこの実が黒くなります。調べ方は来年花が咲いたら確認します。



オオヤマトンボヤゴ  
 調査のため起こしてしまいました。また、元に戻しました。

# 季節の写真集 (9月～11月)



「収穫目前」  
9/16 お花茶屋  
名前：R

「オオカマキリ」  
9/4 区内北西部  
名前：石鍋 寿一

アキアカネ  
「秋の訪れ」  
9月 柴又  
名前：瑛ちゃん



「大きさはアマガエルだけど、  
これでもヒキガエルだぜ👉」  
9月 名前：慶蔵



「ナミアゲハとヒガンバナ」  
9/16 鎌倉  
名前：となり



「ツツジ咲く」  
9/27 白鳥  
名前：Ryu



セスジスズメ  
「目玉がいっぱい!？」  
9/27 金町  
名前：瑛ちゃん





「アジサイ開花」  
10/5 お花茶屋  
名前：R



「カントウヨメナ」  
10/9 区内北西部  
名前：石鍋 壽一



アオサギ  
「おじちゃん釣れた？」  
10月 水元公園  
名前：瑛ちゃん



「ヤマトシジミ」  
10/23 お花茶屋  
名前：R y u





ルリタテハ  
「森の宝石 ルリタテハ」  
10/23 水元公園  
名前：千葉 美文

クロジ  
「今年も会えたね」  
10/23 水元公園  
名前：千葉 美文



セイタカシギ（上）と  
アオアシシギ（下）  
「キセキの2ショット」  
10/24 荒川河川敷  
名前：千葉 美文

「駐車場で健気に育つノブドウ？」  
10/29 水元5丁目  
名前：ゆきひめ



「カーテンにトンボのシルエット！  
網戸にしばらく止まっていた」

11/2

名前：有泉 桂子



左から、チュウサギ・コサギ・アオサギ  
「三密、サギ類3種類。」

本当はもう一匹、右にいる」

11/13 区北西部

名前：石鍋 寿一

「イトトンボヤゴ」

11/5 柴又・新八水路

名前：となり



「チリメンカワニナとヤマトシジミ」

11/5 柴又・新八水路

名前：となり



「高砂小橋の下にいたカニ」

11/10

名前：慶蔵



「ボケの花、蝶に見えました」

11/19 西亀有せせらぎ公園

名前：有泉 桂子



「つぼみ」

11/20 お花茶屋

名前：R



「アカボシゴマダラの抜け殻」

11/28 お花茶屋

名前：Ryu

名前：高橋雅子

## 季節の写真集 秋 (水元公園)

☆カモさんたちがやってきました！



☆セグロセキレイ



☆かわせみさん



## 葛飾柴又新八水路 魚からの便り-290

調査次数 調査日 地点		292			備 考
		2021/9/26			
		本流	新八水路	新八ワンド	
1	ア シ シ ロ ハ ゼ	9 31-36			
2	ウ キ ゴ リ		1 35		
3	ウ ナ ギ	1 160			
4	オ イ カ ワ	12 94-121			
5	カ ダ ヤ シ		24 18-36		特定外来生物
6	カ マ ツ カ	27 80-111			
7	カ ム ル チ ー		2 90-123		
8	ギ ン ブ ナ		9 36-81	4 49-85	
9	ゲ ン ゴ ロ ウ ブ ナ	1 135			
10	コ イ	3 106-136	3 63-118	2 60-77	
11	ス ミ ウ キ ゴ リ		1 55		
12	タイリクバラタナゴ		1 21		
13	ツ チ フ キ			2 58-68	
14	デ メ モ ロ コ	1 81			
15	ナ マ ズ		1 162		
16	ニ ゴ イ	9 63-360			
17	ヌ マ チ チ ブ	34 20-59			
18	ボ ラ	12 81-148			
19	マ ハ ゼ	35 56-110			
20	メ ダ カ		3 23-24		
計		11種類144個体	9種類45個体	3種類8個体	

- ・ 上段の数字は個体数、下段の数字は全長の最小-最大範囲（単位：mm）
- ・ 江戸川本流、新八水路、新八ワンドあわせて20種類197個体の魚類が採集されました。
- ・ 曇り一時雨、気温21.0℃、水温 本流21.8℃、新八水路20.1℃、新八ワンド22.5℃（15:00頃測定）

「参考」江戸川の水位（観測所：千葉県市川市市川 市川根本排水機場江戸川側）  
 (10:00)1.43m (12:00)1.07m (14:00)0.80m

## 【参加者コメント】

- ・ 急な減水で、流れが速く、午前と午後では状況ががらりと変わる中の調査でした。オイカワやカマツカが、最近、記憶にないほど多かったのは、月の前半に雨が多かった影響でしょうか。（KI）
- ・ なんと20年以上採れてなかったナマズが水路で採れた。カムルチーが複数採れたり珍しいことが起こった一日。やはりウナギが採れるのは嬉しい。（SI）

## 【今後の調査日】

10月9日(土) 11月6日(土) 12月4日(土)  
 2022年 1月15日(土) 2月19日(土) 3月19日(土)

HP ( <http://shigenori1.jimdo.com/> ) 新八水路「自主生物調査団」【編集：一澤成典】

## 葛飾柴又新八水路 魚からの便り-291

調査回数 調査日 地点	293			備 考
	2021/10/9			
	本流	新八水路	新八ワンド	
1	ア シ シ ロ ハ ゼ	1 39		
2	ウ キ ゴ リ		5 64-73	
3	オ イ カ ワ	12 101-124		
4	オ オ ク チ バ ス	1 262		特定外来生物
5	カ ダ ヤ シ		17 23-40	9 17-38 特定外来生物
6	カ マ ツ カ	9 94-128		
7	ギ ン ブ ナ		1 60	
8	コ ク チ バ ス	1 132		特定外来生物
9	ド ジ ョ ウ		1 56	
10	ニ ゴ イ	11 65-122		
11	ヌ マ チ チ ブ	3 40-44		
12	ボ ラ	9 95-134		
13	マ ハ ゼ	14 35-117		
14	マ ル タ	2 22-133		
15	メ ダ カ		13 21-34	5 12-27
計		10種類63個体	5種類37個体	2種類14個体

・ 上段の数字は個体数、下段の数字は全長の最小-最大範囲（単位：mm）

・ 江戸川本流、新八水路、新八ワンドあわせて20種類197個体の魚類が採集されました。

・ 曇のち晴、気温26.3℃、水温 本流24.1℃、新八水路23.0℃、新八ワンド25.0℃（14:30頃測  
定）  
「参考」江戸川の水位（観測所：千葉縣市川市市川 市川根本排水機場江戸川側）  
（10:00）1.79m（12:00）1.65m（14:00）1.72m

## 【参加者コメント】

- ・ 投網1投目からボラとハゼ、幸先いい思ったのは束の間、18節の目から抜けていった。あとは打ちまくり、心底疲れしました。でも、大好きなカマツカが今月もついてくれたので楽しい1日でした。（MT）
- ・ 朝から親子連れの参加があり、午後には久しぶりの女子大生が顔を出し、本日はなかなかの盛況振り。午後から入った本流は風が強く吹き出しました。疲れ果てて土手にあがったら全く風が無くて、びっくり。（KY）
- ・ 高い水位と強風に苦しめられたが、ベテラン投網師不在の穴をT氏が見事に埋める活躍をしてくれた。10月にして気温25度超えは、やはり温暖化の影響か。（SI）

【今後の調査日】 11月6日（土） 12月4日（土） 2022年1月15日（土） 2月19日（土） 3月19日（土）

HP（<http://shigenori1.jimdo.com/>）新八水路「自主生物調査団」【編集：一澤成典】

## 葛飾柴又新八水路 魚からの便り-292

調査次数 調査日 地点	294			備 考	
	2021/11/6				
	本流	新八水路	新八ワンド		
1	ア シ シ ロ ハ ゼ	4 32-41			
2	ウ キ ゴ リ		1 51		
3	オ イ カ ワ	6 53-138			
4	カ ダ ヤ シ		102 7-41	192 9-33	特定外来生物
5	カ マ ツ カ	2 99-119			
6	ニ ゴ イ	1 98			
7	ヌ マ チ チ ブ	10 29-52		1 48	
8	ハ ス	1 240			
9	ボ ラ	7 130-163			
10	マ ハ ゼ	3 92-103			
11	マ ル タ	5 97-141			
12	メ ダ カ		15 20-26	16 17-28	
計		9種類39個体	3種類118個体	3種類209個体	

- ・ 上段の数字は個体数、下段の数字は全長の最小-最大範囲（単位：mm）
- ・ 江戸川本流、新八水路、新八ワンドあわせて12種類366個体の魚類が採集されました。
- ・ 晴れ、気温21.0℃、水温 本流17.7℃、新八水路15.7℃、新八ワンド17.0℃（14:30頃測定）  
「参考」江戸川の水位（観測所：千葉県市川市市川 市川根本排水機場江戸川側）  
（10:00）1.81m（12:00）1.83m（14:00）1.84m

## 【参加者コメント】

- ・ オオバンが見られました。秋になると新八にきて、付近で冬を越すようです。水位が高く苦戦。これから寒くなる中このままだと、だいぶ厳しい魚採りになりそうです。メダカが少なめで、ついついカダヤシをたくさん採ってしまいました。測定が大変。（KI）
- ・ 普段入ることのない新八水路や江戸川に入って採集できて、親子ともに楽しかったです。息子は、図鑑でしか見たことのないハスやカマツカなどを見て大興奮でした。帰宅後も、撮ってきたハスの写真を見て喜んでます。ありがとうございました。（初参加TSさん）
- ・ 珍しく、いつものメンバーよりも初参加者の人数が多かった。この日のために事前にワンド内の草抜きをしておいて良かった。（SI）

【今後の調査日】 12月4日（土） 2022年1月15日（土） 2月19日（土） 3月19日（土）

HP（<http://shigenori1.jimdo.com/>）新八水路「自主生物調査団」【編集：一澤成典】





## 環境課からのお知らせ

自然環境係 電話5654-8237 (直通)

# 自然環境レポーター研修会を開催しました

令和3年12月18日(土)、今回は「冬の野鳥と自然の遊び」をテーマに、水元公園の水辺の生きもの館周辺で自然観察会を開催しました。講義室で鳥が水に浮かぶ仕組みなど野鳥についてお話を聞いた後、屋外に出て冬の動植物の観察会を行いました。すぐ近くにアオサギがいたり、マガモやカワセミの美しい姿を観察することができました。また野鳥だけではなく植物についても教えていただき、和やかな観察会となりました。寒い中ではありましたが、ご参加いただいた皆様ありがとうございました。



### ★新ハ水路で魚類調査を行います★

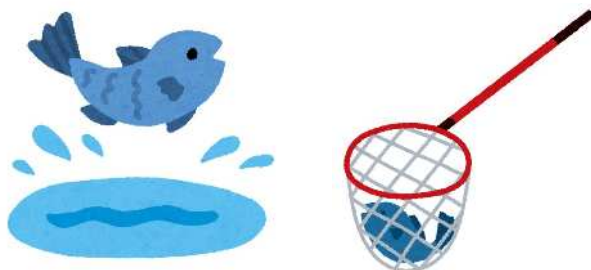
日時 2022年 1月15日(土)、2月19日(土)、3月19日(土)  
午前10時～午後4時ごろ

場所 江戸川河川敷 ※事前にご連絡をお願いします。

持ち物 着替え、昼食、飲み物、首に巻くタオル、短くないソックス

◆詳しくは、「新ハ水路魚類調査」で検索し、ホームページをご覧ください。

HP ( <http://shigenoril.jimdo.com/> )





## 🌸環境課が開催したイベントを一部ご紹介します🌸

カンタンその他、アオマツムシ  
やツヅレサセコオロギ、ミツ  
カドコオロギ、ツユムシなど  
が鳴いていました

ノビルやオオキンケイギク、サル  
ノコシカケやエノキなどを観察  
しました。「観察の森」の中は自  
然林化していて、アップダウンの  
ある中を歩き、貴重な体験でした

9/17 (金), 9/27 (水)

鳴く虫の女王「カンタン」と秋に鳴く虫を聴く会  
(青戸平和公園, 水元スポーツセンター公園)

10/17 (日)

大人向け「秋の自然観察会」  
(都立和田堀公園)

10/24 (日)

かつしかっ子探検隊【3回目】  
(都立赤塚公園)

12/12 (日)

かつしかっ子探検隊【4回目】  
(葛飾区郷土と天文の博物館)

大きなお腹のハラビロ  
カマキリがいました

プラネタリウムで宇宙  
について学びました



～冬号でご協力いただいたみなさま～

Rさん、有泉桂子さん、石鍋壽一さん、市原みずよさん、  
瑛ちゃん、江戸川の小鮒さん、K・Nさん、慶蔵さん、  
佐々木定治さん、散歩の花子さん、高橋雅子さん、  
田村ひろ子さん、千葉美文さん、T・Kさん、となりさん、  
藤並剛さん、弥生さくら草さん、ゆきひめさん、Ryuさん、  
自主生物調査団(編集:一澤成典さん)

ご協力ありがとうございました☆彡

「水辺のふるさとかつしか」第319号  
(葛飾区 自然環境レポーター通信第271号)

令和3年12月末 発行

葛飾区環境部環境課自然環境係

〒124-8555 葛飾区立石5-13-1

Tel.(3695)1111 内線3522~3

直通電話 (5654)8237

fax (5698)1538



◆「水辺のふるさとかつしか」の内容について、お間違い等お気づきの点がありましたらお知らせください。